

# 北海道総合保健医療協議会 令和5年度第2回地域保健専門委員会 (R5.8.3 書面開催) の意見について

令和5年8月3日に開催した、北海道総合保健医療協議会令和5年度第2回地域保健専門委員会（書面開催）開催の結果、各委員から次のとおり意見の提出がありましたので報告します。

## 1 協議事項

(1) 北海道医療計画（H30～R5）の推進状況及び評価等（案）について（資料1-1、1-2）

委員名	意見	対応等
深津委員	資料1-2 P3「訪問看護ステーションの役割」において、「施策の展開内容」に対する「主な事業の推進状況」が「多職種連携の推進のための研修会の開催」となっており、訪問看護の役割と内容が合っていない印象を受けます。今後の課題も同様です。多職種連携はもちろん重要ですが、訪問看護の役割で整理していただけたらと思います。よろしくをお願いします。	ご意見いただきありがとうございます。 ご意見を踏まえて、今後の在宅療養に関する施策を検討させていただきます。
坂田委員	北海道は、喫煙率が高いので、その方策として、禁煙にした喫茶店や飲食店に、何らかのインセンティブを道から付与することを検討してはいかがでしょうか。 また、検診の受診率向上については、他の都府県の施策を調べ、効果を上げていると思われる施策を参考にしてはいかがでしょうか。	ご意見いただきありがとうございます。 ご意見を踏まえて、今後のたばこ対策及び検診受診率向上の施策を検討させていただきます。

委員名	意見	対応等
篠原委員	<p>全体的に見て、推進状況及び評価については意義ありません。</p> <p>資料1-2の評価の中で、2. がん早期発見の「がん検診の普及啓発」活動において「がんを知る展」を全道で行ったとの記載がありますが、どのような地区で行ったのかなど具体的な状況がわかりませんでした。</p> <p>資料1-2：課題と今後の取り組み方針ですが、受診率の向上が必要で、啓発活動に関しても重点地区を決め集中する手もあると思われます。また、医療者や行政だけでなく、患者自身や患者の会などにも協力してもらおうとリアルな啓発活動につながるものと思います。</p> <p>やはり、がん予防の観点では禁煙支援に勝るものはないと思います。実際のデータを知らないのですが、喫煙率が道内各振興局でどれくらいなのか。どれくらいの格差があるのかを示し、差があるなら高いところを禁煙重点地区などの扱いで支援を強める必要はあると思います。(ただ、これはすでにやられているものと思いますが)</p>	<p>「がんを知る展」につきましては、共催した日本郵便株式会社の希望する各局により随時開催という形で、95箇所で開催しました。</p> <p>また、委員ご指摘のとおり、検診受診率の向上を図るためには、患者の声を踏まえた啓発活動や地域状況を踏まえた取り組みが必要だと考えますので、今後も皆様のご意見を伺いながら、道として必要な対策を推進してまいります。</p>

## 2 その他意見など

委員名	意見	対応等
田西委員	<p>がんの化学療法や放射線治療に伴う口腔合併症の中に、アフタ性の口内炎があります。外用薬の処方のみで、飲食時の傷みが緩和されない患者が多くいます。歯科ではレーザー照射による治療が一月につき1回に限られますが、保険診療にて行えます。</p> <p>また、治療できる医療機関は、北海道厚生局長に届け出が施設基準として必要なため、患者からこのような情報をもとに、最寄りの医療機関を検索できると思います。がん患者への色々な情報提供が必要な時代だと思います。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>道としても、関係機関や患者団体等と連携し、全てのがん患者が、いつでもどこに居ても、安心して生活することのできる社会を実現し、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質を向上させることを目指してまいります。</p>
深津委員	<p>資料1-2 薬局の役割の中に「おくすり手帳を交付」とありますが、おくすり手帳は「交付」ではなく「提供」ではないかと思うのですが、違いますでしょうか。</p>	<p>ご指摘いただきありがとうございます。</p> <p>薬事法に基づき、公表することとされている薬局機能に関する情報において、「お薬手帳の交付」と表記されていることから、本評価においても「交付」という表記を使用しております。</p>
篠原委員	<p>以前から考えていたところですが、がん検診の方策です。啓発活動に関して北海道を中心に頑張られてきていると思いますが、やはりこれ以上の向上は難しそうです。がん検診の方法自体は本州を中心に実施形態が決められており、北海道の土地、就労（農業、漁業など）に合っていないのかもしれませんが、今後、北海道の土地、特に札幌のような都市部と地方との間でより適切ながん検診体制を検討する必要があるかもしれません。さらに可能であれば、医療 Mass を含むデジタル DX を導入したがん検診（スマートがん検診）などの開発を行うことで、より身近にがん検診ができる体制を樹立できる可能性も検討されたいかがでしょうか？</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>医療機関や医師の偏在など、地域の医療的な課題や特性を踏まえた検診実施体制を検討していく必要があると考えておりますので、本ご意見を参考に、各市町村や医療機関等とも情報共有しながら検討してまいります。</p>

### **3 協議結果及び今後の対応**

各委員からのご意見に関しては、上記のとおり対応することとし、協議事項について提案内容のとおり取り進めることとする。